

2011—2012 ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2510地区  
2011～2012年度 ガバナー 熊澤隆樹

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F  
TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512  
e-mail : rid2510@nifty.com

2011-2012年度国際ロータリーテーマ

## 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

Reach Within to Embrace Humanity



### 国際ロータリー第2510地区2011-2012年度 地区目標

- I ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと
- II クラブは(全会員参加型の)新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと
- III まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること

#### CONTENTS | 目次

ガバナーメッセージ .....	1
バンコク国際大会報告 .....	2
2012-2013年度地区協議会報告 .....	4
第17回国際ロータリー日本青少年交換研究会札幌会議を終え .....	5
インドのポリオ撲滅活動に参加して .....	6
第11回日韓親善会議開催のお知らせ .....	7
新会員のご紹介/訃報/例会日の変更について/ 米山寄付、ロータリー財団寄付 .....	8
文庫通信/地区カレンダー (6月) .....	9
出席率・会員数 .....	10



## 「寛容の精神こそ、 ロータリーに不可欠ものである」

国際ロータリー第2510地区

2011-2012年度 ガバナー **熊澤隆樹** (小樽RC)

会長・幹事の皆さん、この一年間ご苦勞様でした。この月信が、年度内の最後のメッセージとなります。7月よりスタートして、公式訪問、月信を通じて、バネルジー会長のテーマをどれだけ伝えることができたか、自分の力のなさを実感しております。そしてクラブの現場の声を聞き、これまでのR Iの方針がうまく伝えられていないことを感ずる一年間でもありました。それは国際ロータリーがポリオ撲滅に象徴される外向けの奉仕活動に力を注いでいたことにも大きな原因であることと考えられます。今年5月のバンコクでの国際大会の本会議の挨拶でノエル A. バジャット R I 副会長は、各クラブの意思が R I 理事会を動かすとはっきり明言しており、田中作次 R I 会長年度の R I の変化が楽しみです。

1月号の月信でも紹介したように、ロータリーの独自性について、ポール・ハリスは自伝の中で「ロータリーは長年にわたって一定の方針をとってきている。…ヨーロッパのクラブはアメリカの中にはじめは認めなかった価値を今は発見している。」——これは、1914年、イギリスに結成された R I B I (グレートブリテン及びアイルランド内国際ロータリー) をさしていると思われ、1922年には管理上の地域単位と認められております。——

そこで、日本のロータリーもアメリカと違った価値観を持つことが認められるべきでロータリーの目的は同じでも、具体的方策はアメリカ (R I の中心的存在) の考えるものと当然違っていても良いはずで、これは、東京 RC の創立時のメンバーの社会的地位が、シカゴで誕生したロータリーのメンバーのそれと違っていることによる生い立ちが生じたことによるものが、大きいのではないかと考えてなりません。そこで、ロータリーの目的は同じでも、方策が違った方が、日本のロータリーを元気にするのではないのでしょうか。田中作次 R I 会長年度には、このことが見えてくる方向づけが生まれればと期待するものであります。

私は、R I の戦略計画を日本的に表すと、私見ですが

- ① クラブ例会は、会員の人生哲学を学ぶ道場である。
- ② 奉仕は、仏教の言葉、四無量心 (慈悲喜捨) の愛の心の実践の場である。
- ③ 奉仕活動は、「積善の家に余慶あり」の心で行うものである。

とすると、日本のロータリーも少し元気が湧いてくるのではないのでしょうか。

さて、今月はロータリー親睦月間にあたり、ロータリーの親睦について少し触れてみたいと思います。ロータリアンの友情・寛容は、会員の親睦には大切なものであり、『親睦は、ロータリーがその上に建てられた礎石であったし、寛容はそれをしっかり結合させる成分である。…わが祖父の一生を特徴づけてもいた。そしてそこからこそ、私の信念が生まれたといえる寛容の精神こそ、ロータリーには不可欠なのである。』とポールは「わがロータリーへの道」で述べております。

最後に、その最終ページを紹介して私のメッセージを終えさせていただきます。

神よ、人の短所や国の欠点は目に入らないように、  
長所や良いところだけが目に付くようにお守り下さい。



# バンコク国際大会報告



地区国際奉仕委員会

委員 谷口正樹 (滝川RC)

5月6日からタイ・バンコクにて開催される国際大会に参加するため我々 2510地区の第一陣として熊澤ガバナー夫妻をはじめ一行15名は、5月2日に千歳空港を出発しソウルを経由して深夜のバンコクに降り立ちました。バンコク・スワンナプーム空港内では、多くの国際大会の旗が掲示され、さらに多くのタイのロータリアンやボランティアの方々がにこやかに出迎えてくれました。

その方々に案内されたロータリー専用VIPカウンターで、1時間以上はかかるとの事前情報であった入国審査が、待ち時間なくすっきり入国出来ました。「ロータリーに感謝」。



5月3、4日一行はそれぞれバンコク市内の寺院めぐりに行ったり、ゴルフをしたりと灼熱のバンコクを体験。



5月5日我々「北海道ナイト」幹事団が半年かけて設えた当日であります。当地区内より63名の登録・参加を戴き、そしてバンコクでの国際大会だからこそ多くのゲストをお迎えできるナイトであります。熊澤ガバナー夫妻、渡邊パスト・ガバナー夫妻、安孫子ガバナー・ノミニ夫妻にはタイの衣装でお出迎えして戴き、もちろん我々幹事団もタイ風の衣装で…。



長年当地区WCS・GSEなどの共同事業で関係の深い第3340地区・第3350地区・第3360地区のガバナーをはじめ多くの友人たち、GSEの事業においてお世話になったオーストラリアの友人、本年度当地区に来ていたドイツGSEチームリーダーのガブリエラさん、マレーシアの友人たち、第2530地区福島佐原パスト・ガバナーをはじめ約10名の友人、そして当地区の多くのメンバー総勢約150名の大きなナイトとなりました。



渡邊地区R I国際大会推進委員長（PG）より開会のスピーチを戴き、福島より送って頂いた日本酒の鏡開き・熊澤ガバナーの乾杯を皮切りに、タイとの共同事業の報告、熊澤ガバナーよりWCS事業の感謝状の贈呈、丸山パスト・ガバナーよりGSE事業への感謝状贈呈、タイの古典舞踊など盛りだくさんのプログラムを終え、締めめの挨拶を安孫子ガバナー・ノミネーより戴き、盛会の内に終了することができました。登録・参加を戴いた深川RC、江別西RC、札幌真駒内RC、千歳セントラルRC、三石RC、札幌西RC、札幌東RC、札幌幌南RC、由仁RC、小樽RC、様似RC、札幌北RC、留萌RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、当別RCの皆さまありがとうございました。そして集まって戴いた「世界中のロータリーの友人に感謝」。



5月6日、早朝より開会式の会場である「インパクト」は実に大きな会場であります。確かに38000名の国際大会の登録と聞いていますのでこのスケールがないと開催はできないでしょう。開会式にタイ王室のチュラポン王女殿下を迎えたため厳重なセキュリティーをめぐり、巨大な開会式会場へ。そして盛大なエンターテイメントが行われる中、ロータリアンがこれまでの活動の成果を祝い、互いの親睦を深めました。その中でカルヤン・バネルジーRI会長からは、ロータリーの未来の鍵を握るのは新世代とソーシャルメディアであると発言されています。まさに自分自身ロータリー活動において感じていることを発言されたのでまさに感動に近いものがありました。



5月7日、バンコク市内が世界中のロータリーで活気あふれる中、帰路へ向かったのであります。

今回はアジアのバンコクであり、参加された方が色々な方法で参加した経緯もあり当地区のメンバーが正式に何名登録したのかははっきりしませんが、間違いなく例年より多くのメンバーが参加した大会と思っております。自分は多くの「感謝」の中で参加した大会でありました。本当にご協力ありがとうございました。来年リスポンに多くのメンバーが参加することを期待します。





# 国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区協議会報告

国際ロータリー 2510地区

次期地区幹事 **山田 一孝**  
(静内RC)

当地区の2012-2013年度地区協議会が去る4月8日(日)、新ひだか町公民館において開催されました。来る7月から始まる2012-2013年度に臨み、国際ロータリー田中作次会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」をかかげ、細川好弘ガバナー・エレクト(次期地区ガバナー)の地区目標である

- ①ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう
- ②地域や世界に役立つ奉仕をしよう
- ③今一度、親睦と友情を拡大しよう

を地区内各クラブに徹底し、これを具現化する方策を協議するため、地区役員を始め、地区内72クラブの会長・幹事および奉仕部門の委員長を含むロータリー関係者約500人が出席して真剣な討議が展開されました。



地区協議会は静内RCの大森康正実行副委員長が司会を務め、午前10時、細川好弘ガバナー・エレクトの点鐘により開会、国歌、ロータリーソングを斉唱、富岡豊静内RC会長の意義ある協議会になるよう期待しますとの歓迎の言葉に続き、細川好弘ガバナー・エレクトから出席地区役員・次期地区役員・次期ガバナー補佐の紹介がありました。

細川好弘ガバナー・エレクトの講演、丸山淳士次期地区研修リーダーの講演、岩城秀晴次期地区ロータリー財団委員長の講演で午前の部を終了、昼食後は部門別に第1分科会(会長・幹事部門)、第2分科会(クラブ奉仕部門)、第3分科会(職業奉仕部門)、第4分科会(社会奉仕・国際奉仕の奉仕プロジェクト部門)、第5分科会(青少年関係を含む新世代奉仕部門)に分かれて各2時間の研究討議が行われ、30分の休憩の後は第2分科会から第5分科会までの各リーダーによる分科会報告、熊澤隆樹ガバナーによるガバナー所感、細川好弘ガバナー・エレクトにより謝辞が述べられ、ロータリーソング「手に手つないで」を斉唱、静内RC山口俊秀実行委員長の閉会の言葉のあと細川好弘ガバナー・エレクトの点鐘により閉会しました。



第  
17  
回

## 国際ロータリー日本青少年交換研究会札幌会議を終え

国際ロータリー日本青少年交換研究会  
札幌会議実行委員長

地区新世代委員会委員長 柳 孝一  
(札幌南RC)

4月28日、29日札幌パークホテルにおいて、第17回国際ロータリー日本青少年交換研究会札幌会議（以下札幌会議）が開催されました。（昨年度は松山、次年度は広島市で開催されます。）

思い起こせば昨年4月、丸山パスト・ガバナーから関係委員会の各委員長が、ガバナー事務所に招集されたところから始まりました。この一年の準備期間を振り返ると、とても書ききれませんので、ここでは割愛させていただきます。

札幌で全国レベルのロータリー関連の会合が行われる事は、珍しく、参考例もなく、またホストクラブも専用の地区委員会もないまま、新世代委員会、特に青少年交換委員会を中心に実行委員会が組織されました。一番の心配は実行委員会には予算はゼロで、すべて登録料で賄わなければならない、赤字は出せない、という課題がありました。地区内クラブの皆さんの協力を戴き、最悪には至らず、無事に開催されました。

肝心の札幌会議は、地区外（海外含む）から約150名、地区内から約120名のロータリアン、20名のROTEX、インターアクト（顧問含む）12名、ローターアクト20名、受入学生7名、派遣候補生6名の総勢330名を超える登録です。



「若者よ、海外へ羽ばたけ」～留学の必要性～のテーマで二日間の札幌会議は、熊澤ガバナーの歓迎挨拶から始まり、基調講演は第2510地区最初の派遣学生（1966年アメリカ第717地区）、増永茂子さん（ROTEX：札幌西RC）にお願いしました。約45年前、苦勞しながらも充実した1年間を過ごし今でも同窓会に出かける関係にあることなど写真を駆使し楽しく話をして戴きました。

1日目の会議を締めくくるアトラクションとして「札幌山の手高等学校吹奏楽部」の皆様は迫力のある演奏をして戴き、参加者から熱い喝采を戴きました。懇親会が終わってもROTEXとローターアクトは夜遅くまで研修が続きます。

2日目はRIJYCの研修委員から講話と昨夜の研修を受けROTEXとローターアクトの発表がグループごとに熱く、持ち時間をフルに使い行われました。すべてのプログラムが時間通り終わるか心配しました。

次年度開催地の第2710地区へ青少年交換旗を引き継ぎし会議は終了しました。準備期間から、2日間の札幌会議中、温かく見守って戴いた丸山パスト・ガバナー、熊澤ガバナーはじめ、地区内のロータリアン、実行委員会の皆さんに深く感謝します。





## インドのポリオ撲滅活動に参加して



国際ロータリー第2510地区

バスト・ガバナー **酒井 正人**

(函館五稜郭RC)

4月15日インドでポリオ・ワクチン全国一斉投与 (National Immunization Days:NID) が行われました。これに合わせて第2830地区の関場慶博PDGのグループが参加するとのことでしたので、私も家内同伴で仲間に加えてもらい活動に参加をしてきました。参加者は第2830地区(青森)が6名、四国から北海道までの各地から12名(家族2名)でした。

我々の活動場所は首都デリーの北隣り、ウッタル・プラデーシュ州ガジアバード (Ghaziabad) でした。インド政府によると、ウッタル・プラデーシュ州は極度の貧困、また人口密度が高く、トイレや社会インフラの整っていない、ポリオのような伝染性の強い菌が最も保菌されやすい地域であるとのことでした。

ガジアバードは人口45万で50名規模のロータリークラブが6クラブあるとのことでした。我々日本人は3人1チームになり、市街地にそれぞれのクラブが担当するブースに派遣されました。我々のチームはガジアバード・グレイターRCとガジアバード・グレイター・インナーホイルクラブのメンバーが担当するブースでした。ブースは街の交差点の一角にテントを張ったものでしたが、クラブのメンバー数名と1名の保健婦が担当していました。早速、我々も投与を始めることになりましたが、投与対象者のチェック方法は年齢が5歳以下であることの申告のみです。褒美の風船目当てに年齢を偽ることもや2度並ぶこどもがいます。そのため投与が終われば左手の小指の爪に紫のマーカールでしるしをつけて二重投与を避けます。



インドでは2002年に大流行があり、単価経口ワクチン投与されて、画期的な効果をあげましたが、残念ながら2006年頃から再び流行しはじめてしまいました。ポリオ根絶は絶望的に思われましたが、2009年から2価ワクチンを使用することで今日の成功が見られたと報告されています。それと共に、インド全域でロータリアンの手で、同一日に一斉投与が行われていることの効果が大きいとのことでした。



長年、ポリオの流行地域の一つとして認識されてきたインドで、今、ポリオ根絶の宣言がされようとしています。2011年度は1名の発症がありましたが、その後1年間にわたりポリオの感染症例が1例も確認されていません。現在実施されている国内各地から集められたポリオと疑われる症例の検査の結果が全て陰性であれば、インドは、WHOのポリオ感染国リストから除外されることになります。

これらの成功をもたらしたのはインドのロータリアンのポリオ撲滅に対する取り組みのエネルギーの大きさです。「ポリオ・ワクチン全国一斉投与」を完全に全国規模で関与していることは勿論ですが、日頃から宗教上の問題で投与を拒んでいる場合には、モスクをたずねて指導者を根気よく理解をえるまで説得している様や、さまざまな啓蒙活動をしてきたからでしょう。それは空港職員の言葉にも表れていました。ロータリーマークのついた「END POLIO NOW」と書かれた私の帽子をみて「ポリオのためにインドに来たのか、ありがとう」でロータリーがポリオ撲滅に大きく関わってきたことを大勢のインドの人々に認められていると知ることが出来ます。



## 第11回

# 日韓親善会議 開催のお知らせ

ガバナー会議長 片倉章雄  
日韓親善委員会委員長・元RI理事 今井鎮雄  
第11回日韓親善会議 市川伊三夫  
実行委員長

拝啓 日頃はロータリー活動にご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。

さて2011年9月開催を予定しておりました第11回日韓親善会議は昨年3月11日に発生した未曾有の東日本大震災により1年の延期を余儀なくされ、本年下記の要領で開催する事になりました。

この度の災害復興に当たっては、韓国ロータリーから心温まる多くの支援をいただきました。本当に頭の下がる思いです。しかもクラブ単位の支援は今尚続いており、災害は新しい日韓親善の芽をいくつも育てつつあります。私達は今次大会を新次元の両国親善の強い絆を確認する大会にしたいとお願いいたしております。

韓国側からは約300名の出席を予定しておりますが、わが国からは韓国の復興支援へ感謝をこめて、そして両国が国境をこえ益々強く結びつき、友愛の輪をひろげつつ、明日の繁栄にむけ手をとりあって進めるよう、強い決意を確認しあう大会にしたいと思っております。

また、当日は2012-13年度国際ロータリー会長である、田中作次様そして、JICA特別顧問、第8代国連難民高等弁務官の緒方貞子様も、お忙しい日程をやりくりしてご出席頂けることになりました。

尚、詳細につきましては後日改めてご通知させて頂きたいと存じますが宜しくお願い申し上げます。

敬具

**開催日時：2012年8月31日(金)～9月1日(土)**

開催場所：グランド・プリンスホテル新高輪「飛天」の間

登録料：22,000円

大会予定：特別講演：田中作次様(予定) 基調講演：緒方貞子様(予定)

アトラクション等の詳細は今後順次決定します。

**8月31日(金)**

登録 13:00～15:00  
会議 15:00～17:00  
感謝の集い(懇親会) 17:30～19:30

**9月1日(土)**

登録 8:30～9:20  
会議 9:20～15:05  
特別講演、基調講演、震災援助プロジェクト事例発表等

日韓姉妹クラブ広場、日韓クラブお見合い広場、震災援助プロジェクト事例等の展示を会場前に設置します。

ご登録については各地区ガバナー事務所を通じてお願い致します。

お問合せ：国際ロータリー第2750地区ガバナー事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

(電話) 03-3436-2750 (Fax) 03-5472-2750

第11回日韓親善会議事務局長 松下昌夫



## 新会員のご紹介

(敬称略)



江別RC  
富永 政博  
1月5日入会  
農業



北広島RC  
小森 宏明  
8月1日入会  
社会福祉



北広島RC  
櫻井 和久  
9月6日入会  
ビル総合管理



北広島RC  
北川 隆雄  
9月20日入会  
建築設計



岩見沢RC  
高橋 正典  
4月12日入会  
普通銀行



伊達RC  
辻木 勝夫  
4月10日入会  
新聞発行



苫小牧東RC  
保苅 伸広  
4月26日入会  
電力供給



札幌大通公園RC  
亀ヶ森 亨  
4月6日入会  
ホテルサービス業



札幌大通公園RC  
吉森 静雄  
5月11日入会  
電気機器製造業



札幌大通公園RC  
阿部実保子  
5月11日入会  
医薬品治験業



苫小牧RC  
清河 智英  
5月11日入会  
地方銀行



苫小牧RC  
磯部 孝信  
5月18日入会  
機械器具・材料卸売

## 訃報



謹んでお悔やみ申し上げますとともに  
心からご冥福をお祈り致します

### 村松克重 会員 (千歳RC)

2012年5月1日逝去(享年75歳)

【ロータリー歴】	1996-97年度	副会長	
1980年9月	入会	2002-03年度	会長
1984-85年度	クラブ資料管理委員長	2004-05年度	ロータリー情報委員長
1985-86年度	社会奉仕委員長	2007-08年度	米山奨学委員長
1987-88年度	ロータリー財団委員長		
1988-89年度	親睦活動委員長	【表彰関係】	
1992-93年度	ロータリー財団委員長	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (2回)	

## 例会日の変更について

札幌大通公園ロータリークラブは、2012-2013年度より下記のとおり、例会日を変更いたしますので宜しくお願い申し上げます。

### 例会日の変更

・現行 ▶▶▶▶ 毎 金曜日 18時30分から  
・変更後 ▶▶▶▶ 毎 **木曜日** 19時00分から

### 会場(会場は変更ございません)

札幌市中央区大通西11丁目  
大通藤井ビル7階 会議室

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

### ◆米山功労者

江別西RC 石黒 良平 会員(4回) 4月18日  
札幌北RC 相沢 英束 会員(10回) 4月3日  
札幌手稲RC 吉田 守宏 会員(1回) 4月9日

札幌手稲RC 末岡 秀明 会員(1回) 4月9日  
小樽RC 熊澤 隆樹 会員(10回) 4月3日  
函館北RC 小笠原 孝 会員(13回) 4月19日

### ◆米山功労クラブ

札幌北RC (25回) 4月3日  
函館北RC (6回) 4月19日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### ◆メジャードナー

江別RC 安孫子建雄 会員(レベル1) 2月28日

### ◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

函館RC 小林 敏夫 会員(2回) 4月27日

### ◆ポール・ハリス・フェロー

札幌手稲RC 吉田 守宏 会員 4月10日  
室蘭RC 國田 雅弘 会員 4月27日



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 日本の先輩ロータリアンのロータリー観

- ◎ 「さわやかインタビュー 人間米山梅吉を大いに語る(その1~3)」 湯浅恭三・杉谷武雄 米山記念奨学会 1986 22p
- ◎ 「大夢翁 土屋元作伝 第一章・第二章」 日出RC編 1996 24p
- ◎ 「『奉仕の理想の意味』ポール・ハリス 『角砂糖クラブとこんぺい糖クラブ』 齊木亀治郎  
『常識の意味』米山梅吉(ロータリー百話)」 辻 忠夫編 D.268 1991 3p
- ◎ 「ロータリー・ニュースとガバナー昔話」 直木太一郎 神戸RC 1975 79p
- ◎ 「ロータリー・ニュース 1981年~83年」 直木太一郎 神戸RC 1983 99p
- ◎ 「前原ガバナー講話集」 D.355 -- 87p

[上記申込先: ロータリー文庫]

- ◎ 「ロータリアン福島喜三次傳(日本ロータリーの曙)」 蒲原権編 有田RC 1986 102p

[申込先: 有田RC FAX(0955)43-3140]

- ◎ 「ロータリーの本」 森 光繁 今治RC 1978 126p

[申込先: 今治RC FAX(0898)22-3952]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

## 地区カレンダー (6月)

6月 ロータリー親睦活動月間	
1(金)	第3回日台ロータリー親善会議(京都)
2(土)	函館亀田RC創立40周年記念式典(函館) ~3(日) 第1回全国インターアクト研修会(神戸)
3(日)	
4(月)	
5(火)	
6(水)	
7(木)	
8(金)	
9(土)	
10(日)	現新地区委員長・ガバナー補佐 合同引継ぎ会議(小樽)
11(月)	
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	~17(日) インターアクト年次大会(札幌)
17(日)	
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	江差RC創立50周年記念式典(江差) ローターアクト年次大会(芦別)
24(日)	
25(月)	第22回JGFR北海道大会(小樽)
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	
30(土)	2011-12年度終了

2012年6月のロータリーレート 1ドル80円



## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2011.7.1	2012.4.30	増減	内女性	
1	深川	4	33	37	4	2	87.00
	羽幌	4	50	48	-2	2	74.47
	妹背牛	4	9	10	1	0	85.00
	留萌	4	44	43	-1	3	78.33
	小計		136	138	2	7	81.20
2	赤平	4	29	28	-1	0	76.00
	芦別	4	37	38	1	1	81.43
	砂川	4	48	50	2	0	93.68
	滝川	4	84	86	2	2	74.25
	小計		198	202	4	3	81.34
3	美唄	4	34	35	1	0	83.06
	江別	4	29	35	6	2	85.71
	江別西	4	25	27	2	3	96.30
	岩見沢	4	81	81	0	0	91.23
	岩見沢東	4	23	22	-1	4	88.41
	栗沢	4	23	23	0	1	94.25
	栗山	4	27	25	-2	2	95.48
	当別	4	28	27	-1	1	92.52
	小計		270	275	5	13	90.87
4	札幌	4	115	120	5	0	98.26
	札幌あけぼの	4	15	16	1	2	100.00
	札幌はまなす	4	18	18	0	3	86.11
	札幌北	3	39	36	-3	4	87.96
	札幌モーニング	4	47	46	-1	0	69.62
	札幌西	4	53	52	-1	5	92.66
	札幌西北	4	31	32	1	4	89.70
	札幌手稲	4	35	33	-2	3	92.30
	小計		353	353	0	21	89.58
5	札幌東	4	110	120	10	0	99.12
	札幌清田	4	19	20	1	6	100.00
	札幌幌南	4	51	51	0	0	100.00
	札幌真駒内	4	26	26	0	3	100.00
	札幌南	4	77	81	4	0	99.69
	札幌大通公園	3	8	11	3	1	66.66
	札幌セントラル	4	9	7	-2	3	82.10
	新札幌	4	28	27	-1	3	80.08
小計		328	343	15	16	90.96	
6	岩内	4	20	20	0	0	90.65
	倶知安	4	39	38	-1	6	82.00
	小樽	4	66	71	5	0	94.07
	小樽南	4	72	71	-1	2	89.13
	小樽銭函	4	20	19	-1	2	88.16
	蘭越	4	8	10	2	0	100.00
	余市	4	42	43	1	4	86.60
	小計		267	272	5	14	90.09

4月出席率・  
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,573人
当月末会員数(女性)	2,633人(119人)
増加会員数	60人
当月平均出席率	85.37%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2011.7.1	2012.4.30	増減	内女性	
7	千歳	4	54	55	1	3	75.90
	千歳セントラル	4	32	35	3	2	77.93
	恵庭	4	47	44	-3	3	85.39
	北広島	4	12	16	4	0	89.06
	長沼	4	20	19	-1	3	86.80
	由仁	4	9	9	0	1	80.56
	小計		174	178	4	12	82.61
8	えりも	4	22	26	4	1	91.34
	三石	4	15	15	0	2	68.30
	様似	4	23	23	0	1	74.20
	静内	4	69	74	5	0	66.77
	浦河	4	34	37	3	2	84.03
	小計		163	175	12	6	76.93
	9	伊達	4	56	55	-1	0
室蘭		4	37	39	2	0	82.57
室蘭東		4	37	39	2	0	82.05
室蘭北		4	38	34	-4	2	100.00
登別		4	32	32	0	1	84.38
洞爺湖		4	10	10	0	0	90.00
小計			210	209	-1	3	86.80
10	函館	4	77	83	6	0	82.75
	函館亀田	4	39	38	-1	4	88.89
	森	4	40	44	4	0	73.00
	七飯	4	14	15	1	0	68.63
	長万部	4	7	8	1	0	81.25
11	函館セントラル	4	29	30	1	2	70.84
	小計		206	218	12	6	77.56
	江差	4	11	10	-1	1	90.00
	函館五稜郭	4	43	40	-3	0	95.38
	函館東	4	45	45	0	6	77.95
12	函館北	4	23	25	2	0	95.00
	北斗	4	17	15	-2	0	65.00
	松前	4	3	3	0	0	66.00
	小計		142	138	-4	7	81.56
	白老	4	28	29	1	2	78.00
合計	苫小牧	3	48	49	1	2	81.37
	苫小牧東	4	26	28	2	4	85.72
	苫小牧北	4	24	26	2	3	94.00
	小計		126	132	6	11	84.77
合計		2,573	2,633	60	119	85.37	

## 小樽バイン

明治45年に北海道銀行本店として建設された。設計は日本銀行旧小樽支店の設計に携わった長野宇平治で、請け負ったのは地元の加藤忠五郎でした。

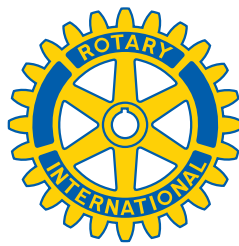
銀行建築独特の重厚さを持ち、玄関や窓周りの石組みデザイン、コーナー部分や窓の間隔の変化などに特徴があります。外観はほぼ創建時の姿が残っています。

現在は北海道中央バスがレストランとして再生し、イタリアンと北海道ワインのワインで観光客にも市民にも人気を博し、おいに振わっています。

小樽ロータリークラブ会長 金久保 兵士郎 作 *かたごちご*



表紙絵：私の残したい小樽シリーズ  
「レストラン小樽バイン(中央バス本社)」 HEISHIRO.K



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**

**2011—2012**

**GOVERNOR**

**TAKAKI KUMAZAWA**